

地区ホームページの「クラブの相談窓口」 問い合わせ回答

2015-16 櫻木ガバナー年度
管理運営委員会
文責：委員長 金子 公久
E-Mail:kokusai@nctv.co.jp

《相談窓口依頼内容の回答》

《クラブからの相談内容》
<p>クラブ運営について</p> <p>1) 親睦委員会と親睦活動委員会について</p> <p>2) 地区研修・協議会でどの様に説明されたのか</p> <p>3) クラブサイドはどの様に受け止めたらいいか</p>
《当委員会の意見と回答》
<p>1) 親睦委員会と親睦活動委員会について</p> <p>「親睦」は只の概念を示します。「親睦活動」は親睦の概念を達成するために、そこに向かう活動と理解します。従って、ロータリークラブの「親睦」本来の意味合いは、手段ということになります。ですから「親睦」は目的ではありません。</p>
<p>2) 地区研修・協議会でどの様に説明されたのか</p> <p>クラブ内に設置される委員会組織の構成は、地区委員会がクラブに対して強制的に示唆をするものではなく、地区委員会は参考意見程度のお話ししかできません。</p> <p>クラブの委員会構成は、クラブの地域における環境や経済状況、地域のニーズに相応した状況下で各クラブの細則に従い、クラブに相応しい委員会構成が望ましいと存じます。</p> <p>なお、この度の会議では、問い合わせに関する案件の説明はしておりません。</p>
<p>3) クラブサイドはどの様に受け止めたらいいか</p> <p>クラブの委員会構成と活動内容はクラブ細則の遵守による活動に尽きます。最近のロータリークラブは「親睦」がクラブ活動の目的で、プログラムも他の委員会も楽しいクラブ運営が良いロータリークラブであると解している節々が垣間見えます。「親睦」を辞書の通り安易に解釈し、クラブ活動の目的は「親睦」であり、目的達成に親睦活動委員会を設けて「親睦」重視を強調するクラブ運営が垣間見えます。しかし、ロータリーで云う「親睦」は本来、目的ではなく「手段」であります。「親睦」の意図する解釈が世間一般の解釈とロータリーの解釈に独特の差異があるようです。多少具体的に考えれば、会員の「親睦」はそれ自体が目的ではなく、目指すところは仲間意識、団結力の醸成ですし、これが組織の力、団結力になります。そこから行動に繋がると考えます。最終的な組織の力を、その為には、会員の間の「親睦」という雰囲気醸成することが必要であり、その一つの手段として親睦活動が求められる由縁です。その手段は、宴会でもゴルフでも、また、炉辺会議も、討論会も有効な手段です。</p> <p>委員会の名称決定はクラブ会長の専権事項です。更に、クラブで「親睦」に対して委員会を設けるかの議論はクラブ内での裁量権です。親睦活動委員会を設けなくてもまた、委員会として独立した活動をするのが望ましいか、いずれかの委員会に統合されるかは、自クラブの会員数に見合った委員会組織への合理化も必要ではないでしょうか。組織の再編はクラブ活性の一助にも繋がります。クラブ協議会を催して、会員相互に理解を得る事も大事です。むしろ、いろいろと試行錯誤をする中から自クラブに相応しい委員会の組織構成を整えて頂きたいと存じます。</p>

これに関して再度のご質問や、別件のご質問を歓迎します。どうぞ何なりと質問をお寄せ下さい。次年度櫻木ガバナーの下、活動します地区管理運営委員会を宜しく申し上げます。